

2017年12月3日[日]
香川県立ミュージアム地下講堂
香川県高松市玉藻町5-5
開場13:30 開演14:00
*入場には整理券が必要です
(ご希望の方は三好まで)

和楽の郷音宴

[演奏曲]

花笠スケルツォ 江戸 信吾 作曲
秋の一日 長沢 勝俊 作曲
たそがれ 坂田 梁山 作曲
二つの田園詩 長沢 勝俊 作曲
ほか

三好綾子先生を偲んで



主催：朱雀会
連絡先：朱雀会代表 三好慶子 TEL087-845-2513 090-8283-8100

◆ご協力をお願い：香川県立ミュージアムでは、美術品等の保護の観点から生花の館内持ち込みは禁止されております。

【三好慶子(箏)】



生田流箏曲演奏家 朱雀会(すざくかい)代表
高松第一高等学校、昭和女子大学英米文学科卒業
宮城会大師範であった母、故三好綾子に幼少より箏の手ほどきを受け、邦楽の世界で育った。大学入学と同時に創明音楽会々長、故小野衛氏(故宮城道雄氏の娘婿で道雄氏の片腕であった)に、箏、三絃、胡弓を師事。
卒業後帰京し、衛氏命名より「朱雀会」の代表として母の弟子を引き継ぐと共に、自らはソロの演奏家として又、指導者として後進の育成に務めた。古典曲、宮城曲、現代曲、新曲はもちろん、オリジナル楽曲、編曲、ジャンルの異なる楽器とのコラボレーションなど演奏の範囲は多岐にわたる。2009年には香川県主催日伊文化交流事業で、イタリアにてソロ演奏し好評を博した。
代表を務める朱雀会は、栗林公園ライトアップや牟礼石あかりなど各種イベントで毎年のように演奏。邦楽人口が減少する中、その魅力を高めるべく、独自に音楽活動を展開している。

【坂田梁山(尺八)】



香川県生まれ。神戸大学在学中より岸原周山・川村泰山に師事。NHK邦楽技能者育成会第30期を卒業し、第13回都山流本曲コンクール金賞・文部大臣賞受賞他、各種コンクールで受賞。
鬼太鼓座公演、劇団四季ミュージカル、片岡鶴太郎主演ミュージカル参加に加え、小椋佳、南こうせつ等のコンサートにも参加し、様々なミュージシャンと共演し、海外公演も数多く行う。CD録音、テレビ(題名のない音楽会他)、ラジオ(邦楽ジョッキー他)には多数出演。尺八を中心としたバンド「ニュートラル」を率いてCD制作をする等、古典から現代音楽に至るまで幅広く活動を行う。
都山流尺八大師範。桐朋学園芸術短期大学日本音楽尺八科非常勤講師。

【若山彰子(箏)】



香川県観音寺市生まれ。
1968年11歳より生田流箏曲を高畑美智子氏に師事。1974年正派準師範試験において主席登第 総裁賞受賞。1976年正派音楽院入学、家元中島靖子氏に師事。1978年正派音楽院卒業、正派邦楽会師範に昇格。第11回世界青年・学生祭典(キューバにて開催)に日本代表文化芸術代表団として参加する。
1979年NHK邦楽技能者育成会第24期修了。
現在、郷里にて後進の指導にあたる。
生田流正派邦楽会大師範。

【臼杵美智代(打楽器)】



香川県三豊市生まれ。
香川県立坂出高等学校音楽科卒業。
桐朋学園大学音楽学部卒業、同大学研究科修了。
マリimbaを安倍圭子氏、打楽器を小林美隆氏、邦楽囃子を藤舎華鳳氏に師事。
NHK洋楽オーディション合格、平成10年度文化庁芸術インターンシップ研修員。
1989年香川県民謡をサマキトで録音、現在RNC県公報ラジオや香川県庁にて放送中。
現在、香川県産出のカンカン石(サマキト)演奏家、くらしき作陽大学マリimba講師、大東楽器マリimba講師(大阪)、日本音楽集団団員(東京)。

【二宮照葉(箏)】



香川県高松市生まれ。
10歳より生田流箏曲を始める。熊野梅葉、初代中村双葉、2代目中村双葉各氏に師事。
「高松邦楽合奏団」「邦楽同人・韻」の会員としての活動を経て、県内外の演奏会に多数出演。
また、邦楽をより身近に感じてもらう運動の一環として、幼稚園、高齢者施設等々のミニコンサートに力を入れている。
現在、葉風会大師範。

【響屋(おとや)(和太鼓集団)】



私たち「響屋(おとや)」は、和太鼓を愛する者たちの集まりとして、2000年11月に活動をスタートしました。三豊市高瀬町を拠点として、下部組織である子ども太鼓の指導、県内外の各種イベントへの出演のほか、自主コンサートや様々なジャンルのアーティストともコラボレーションライブを行うなど、幅広く活動しています。
和太鼓というシンプルな打楽器の未知なる可能性を模索しながら、身近にある音や響きを題材にした作曲活動や、“響屋(おとや)ならではの”音表現をテーマに、個性溢れるパフォーマンスを展開しています。
また、私たちの仲間から現在3名がプロ活動に転向し、全国から海外にまで、様々な場面で活躍を続けています。